

早春の伊豆・河津訪問 in 静岡県賀茂郡河津町

2015.2.15

静岡県伊豆半島の河津町。おなじみの河津桜だけでなく、まだ市販されていないカーネーションの数々や国の天然記念物に指定されている大楠、大ソテツなど、植物の見どころいっぱい。晴天のもと、早春の香りを楽しむ一日となりました。



河津駅を下りるとすぐに、町の案内版。見どころいっぱい、魅力いっぱいの河津町。



桜まつり序盤、咲き始めた河津桜。青空に優しいピンクが映える!!



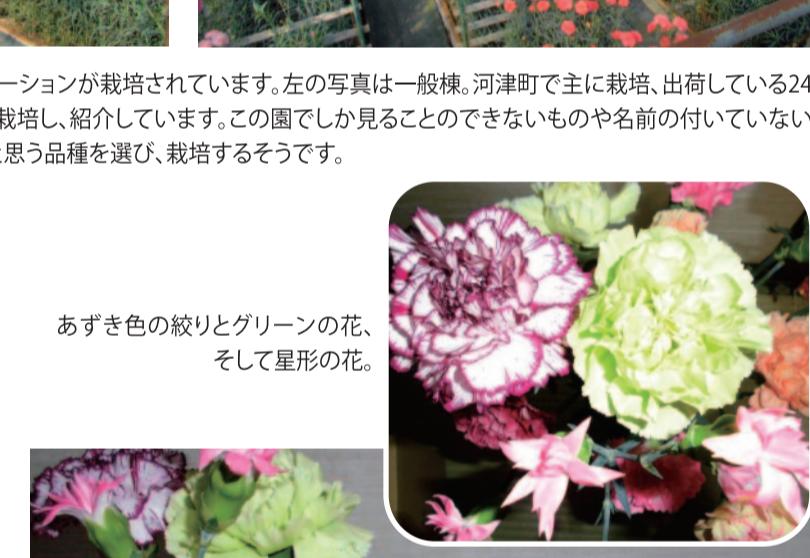
河津桜の名所、河津川のほとりにて



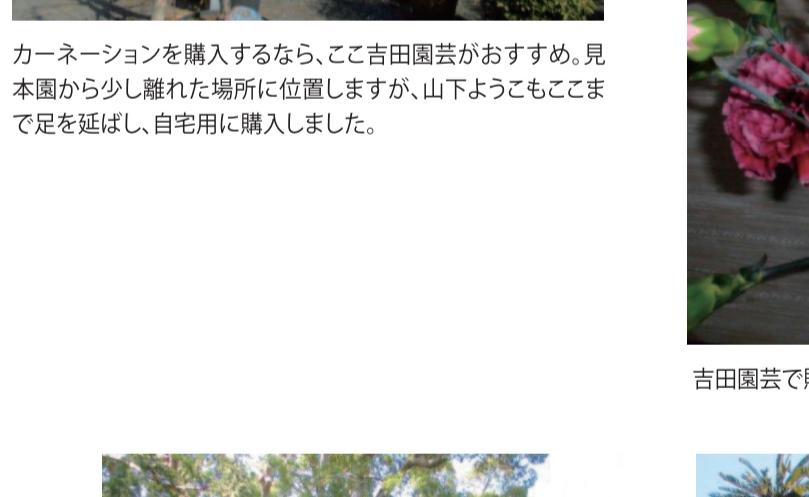
こちらは新品種、河津正月桜。河津桜よりも開花期が早く、ピンクが濃いのが特徴。



飯田家所有、河津桜の原木。樹齢60年以上、高さは10m。



原木の説明板。河津桜の生い立ちがよくわかるので、どうぞお読みください



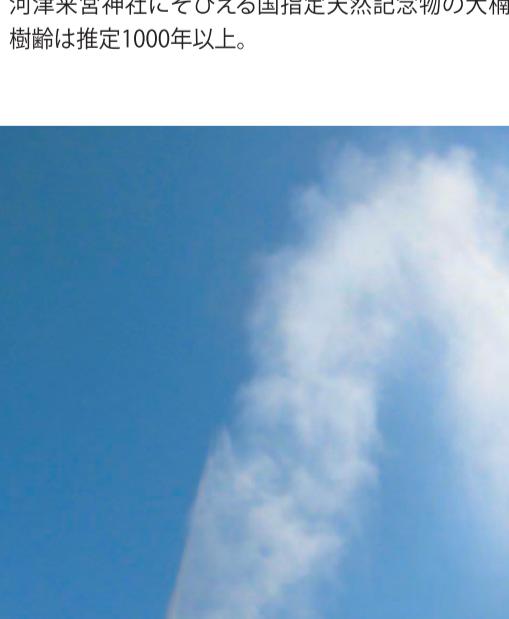
ここはカーネーション見本園。園内では362品種、13,550本のカーネーションが栽培されています。左の写真は一般棟。河津町で主に栽培、出荷している24品種を紹介。右の写真は特別棟。市場にまだ出でていない338品種を栽培し、紹介しています。この園でしか見ることのできないものや名前の付いていないものもたくさん。花卉農家さんは、この中から、「これはすばらしい」と思う品種を選び、栽培するそうです。



あずき色の絞りとグリーンの花、そして星形の花。

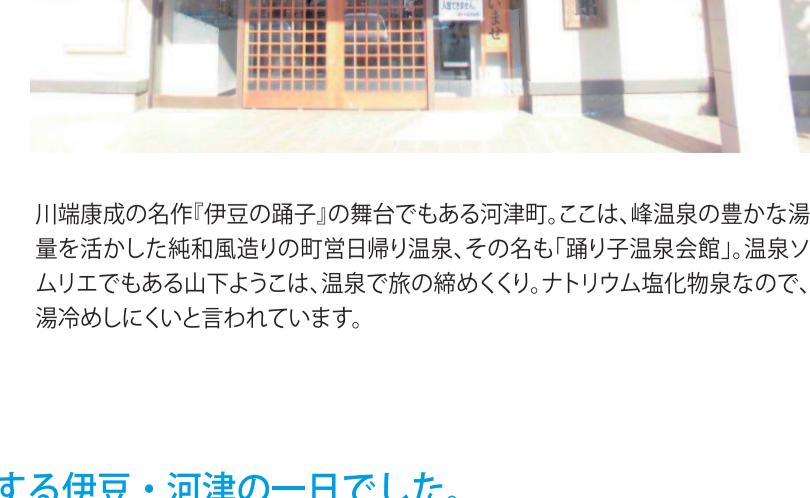


吉田園芸で購入したカーネーション。



河津来宮神社にそびえる国指定天然記念物の大楠。樹齢は推定1000年以上。

こちらも国指定天然記念物。峰温泉近くにある新町の大ソテツ。樹齢はやはり1000年以上と推定。



川端康成の名作『伊豆の踊子』の舞台でもある河津町。ここは、峰温泉の豊かな湯量を活かした純和風造りの町営日帰り温泉、その名も「踊り子温泉会館」。温泉ソムリエでもある山下ようこは、温泉で旅の締めくくり。ナトリウム塩化物泉なので、湯冷めしにくいと言われています。

自然の恵みに感謝する伊豆・河津の一日でした。